

中江藤樹の志とともに

藤樹の門人 大野了佐

大野了佐(1612~1688)は、中江藤樹(1608~1648)が大洲(現在の愛媛県大洲市)で奉行をしていた頃の同僚の子どもでした。了佐の父は、了佐を武士以外の職につかせようと考えており、了佐自身も、人の役に立てる医者になりたいと強く願っていました。そこで了佐は、藤樹に医学書の読み方を教えてほしいと相談

し、藤樹を師として学ぶようになりました。

藤樹の遺墨のなかに「捷徑医筈」に関する書簡があります。捷徑とは近道、医筈とは医学のこと、捷徑医筈とは「医学の近道」という意味です。藤樹は、了佐のために、国内だけでなく中国の医学書も買い求め、その全部を読みこなして、医学の手引書を作成しました。この書簡は、手引書の続きができたので、了佐に取りに来るように伝

えたものです。了佐が学び終えたとき、書き進めながら教えた「捷徑医筈」は、四百字づつめ原稿用紙にして千枚にものぼる量になっていました。

了佐は熱心に何度も繰り返し勉強して医者になり、のちに宇和島(現在の愛媛県宇和島市)に移り住み、村人に慕われながら医者の仕事を全うしました。一度立てた志を貫く粘り強さを持っていた了佐と、了佐の志を実現させた藤樹の偉大さを知ることができます。

令和5年度企画展

近江聖人中江藤樹記念館では、「志つよく引き立てはげむべし、石に立つ矢のためし聞くにも」(志を強く持つて真剣に努力すれば、不可能なことも可能になる)という藤樹の代表的な和歌にも表される「志」をテーマに、「藤樹の志とともに」中江藤樹遺墨展」を令和6年2月29日(木)まで開催しています。

「捷徑医筈に関する書簡」をはじめ

編集感

入園、入学された方や、就職された方、身の回りの環境の変化に少しずつ慣れてきた頃でしょうか。

そろそろ大きな連休もありますが、行動制限のないGW皆さんはどう過ごされるか決まっていますか。

かくいう私は、ひさしぶりの行動制限のないGWなので、陽気にあたって、気分転換できればと思っています。

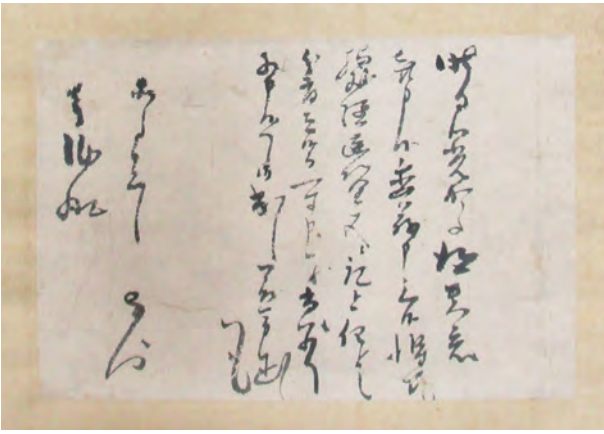
お仕事のある方、お休みを満喫する方、いろいろな方がいらっしゃると思いますが、世間では5月に流行る病もあるそうで、行動制限はないですが、病には気をつけてお過ごしください。(R)



藤樹先生遺墨帖

近江聖人中江藤樹記念館

TEL (032) 03330



捷徑医筈に関する書簡



藤樹かるた



広報たかしま

令和5年

5

月号

No.280

発行▼高島市 編集▼政策部企画広報課

〒160-0801 滋賀県高島市新旭町北畑5の10番地

TEL 0740(25)8000(代)
<https://www.city.takashima.lg.jp>
 E-MAIL t-info@city.takashima.lg.jp